

現地直送

北米西岸港湾の近況レポート

情熱羅針盤

ジャパントラストかわら版



お客様各位、

日頃より、Japan Trust及びGreat Luckのサービスをご起用頂き誠に有難うございます。昨今の国際情勢の煽りを受け、各荷主様に取り物流事情の好転を願う思いも虚しく、新たなフェーズに入っていると考えます。慢性的に続いている運賃高騰、米国港の混雑、コロナウイルスの影響、ウクライナ情勢等々、多面的な問題がこの現状を作り出しております。

現在米国国内では急激な燃料費用の値上げによりトラック運賃の急騰に直面し、港界隈の各倉庫は内陸へ運搬とする多くの貨物の積み替えで常に混雑をしている中、現在も続いている労使交渉の動向を見守るばかりです。

前回の労使交渉では港でのスローダウンが発生し、メキシコ経由やチャーター船などにより米国輸送を実施しました。同様の状況に直面する前に、各荷主様へはカナダ経由輸送のトライアルも視野に入れたルート設定を検討して頂きたいと思っております。

また、今後効果が期待されるバイデン&ハリス政権政策による貨物情報の相互交換機能の向上と改善や、メガキャリア数社に対し不公平な運賃操作、過大な追加費用請求などへの監視体制を強める政策を発表しております。

適正な運賃と透明性と安定的な物流が世界のボトルネックとなっている米国で実現すれば、我々を取り巻く環境の中で運賃高騰と米国港の混雑が解消されていけば、貿易の活路が見出されていくと期待します。いずれにせよ、各方面の動向が引き続き注目されます。

米国法人Great Luck Inc.より



2022年 米国西岸ストライキの可能性について

西海岸の港湾では過去の労働協約更新の度に紛争が生じており、2002年や2014~2015年に大規模な労働争議があり物流が混乱しました。西海岸29港に適用される労働協約が2022年7月1日に期限を迎えます。太平洋海事協会(PMA、使用者側)が現在の労働協約を1年間延長したい旨を国際港湾・倉庫労働組合(ILWU、組合側)に申し入れたものの、ILWUはこれを拒否しました。PMAとILWUによる労使交渉は2022年春頃にも開始されると予想されています。今回の主な議論テーマとしては、ターミナルの自動化と賃金、従業員の安全(COVID-19対策等)があげられ、特にターミナルの自動化に関しては組合側が強く反発しており、交渉の難航・長期化が想定されます。

物流に与える影響への懸念

これまでの大規模な労働争議ではストライキ等によって港湾荷役に大幅な遅延が発生しましたが、今回は、既にパンデミックによる港湾混雑が生じており、LA港やLB港を中心に更なる混乱を生じさせることが懸念されます。労働争議に起因するリスクがあることを念頭にして、物流業界関係者と密にコミュニケーションをとり、常に最新の動向を把握いただくことが大切だと思います。また、ストライキが発生し西海岸の港が使用不可能になる前に、**事前に代替ルートへの切替等を実績として残しておくことをお勧めいたします。**

